

## 港区立青南幼稚園経営計画

港区立青南幼稚園  
園長 西澤 尚子

### I はじめに

今年度も、これまでの青南幼稚園の教育の在り方を継続し、幼稚園・家庭・地域のつながりを大切にしたい園経営を進めていくことを基本とする。

本園は開園48年目の年を迎え、3歳児1学級、4歳児2学級、5歳児1学級の全4学級である。平成24年度から3歳児保育を開始し、今年度は4年目を迎え、3年保育で子どもを育てる教育課程が教員の中でも定着してきているところである。

教職員については、学級数増により担任教諭人数が増えたが、主任教諭は主任専任初年度であり、新規採用者が2名、用務主事も小学校からの異動であることから、昨年度以上に園全体で協力体制を組み、全教職員がそれぞれの力を発揮し、協働して教育活動に取り組み、意欲をもって教育内容の充実に努めるようにすることが課題となる。園庭の身近な自然環境を活かし、また環境を整え、環境による教育を丁寧に積み重ねてきた青南幼稚園らしい教育を継承・発展させていく。

地域は落ち着いた雰囲気、非常に協力的であり、質の高い幼児教育を望み、本園の教育活動を温かく支えていただいている。恵まれた環境に感謝し、地域の方々の教育に対する信頼に応えるべく、青南幼稚園の教職員としての誇りをもち、幼児教育の充実・推進を図る。

以上のことから、教育の港区の幼児期の教育の推進理念である

「幼児の生活に 豊かな学びを保障する」幼稚園づくりを確実に推進する。

### II 幼稚園経営の基本理念

☆つながりの中で子どもが豊かに育つ教育の推進

#### 豊かにつながる幼稚園

様々なつながりの中で、幼児が直接体験を積み重ねて心身共に健やかで豊かな子どもらしい生活を送ることができるように、つながりのある教育の推進を図る。

- 幼児が教師を信頼し、その安心感を基に友達や学級、学年のつながりの中で自己を発揮し、共に育ち合い支え合う関係づくりをする。
- 豊かな自然や周囲の環境を取り入れた遊びや活動、生活が、連続したつながりのあるものとして展開していく教育活動を行う。
- 教師同士が互いにつながり、学び合い、支え合いながら、協働して職務に取り組む。
- 発達や学びの連続性を捉え、家庭教育や小学校教育とつながりのある教育を行う。
- 保護者同士が子育て仲間としてつながり、助け合い、育ち合う関係づくりをする。
- 幼児・保護者・教師・地域がつながり、子どもを健やかに育てる関係づくりをする。

### III 青南幼稚園の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、幼稚園・家庭・地域社会の緊密な連携のもとに、心身ともに健やかで自ら考え行動するとともに、友達同士が互いのよさを認め合える温かな関係性をつくり、集団生活をみんなで楽しむことのできる幼児の育成を目指して、次の目標を定める。

- よく考えて遊ぶ
- 友達をたくさんつくる
- じょうぶな体をつくる

青南の子

#### IV 目指す「青南幼稚園」像

幼児期にふさわしい生き生きとした集団生活を送る中で、直接体験である遊びや生活を通して豊かな学びを積み重ねていき、幼児が徳・知・体の調和のとれた成長や発達をすることができるように、次のような幼稚園づくりを進める。

- < 1 > 幼児がいろいろな友達や人々と関わり合い、多様な体験がつながり、心身共に豊かに育つ幼稚園
- < 2 > 教師一人一人が力を発揮し、互いに学び合い、つながりのある『青南幼稚園の教育』を協働して推進する幼稚園
- < 3 > 保護者が子育てを楽しみ、保護者同士が子育て仲間としてつながりながら、親として育ち合う幼稚園
- < 4 > 地域の人とのつながりを大切にし、地域の人々の力を幼児期の教育に生かす幼稚園

#### V 幼稚園経営の基本方針

- 〔1〕 幼児一人一人をきめ細かく継続的に理解することに努め、幼児・教師・保護者三者の信頼関係を基に、温かく愛情ある保育を丁寧に積み重ねる。
- 〔2〕 幼児が基本的な生活習慣を身に付け、自立し、自己を発揮しながら進んで物事に取り組もうとする関心・意欲・態度を育む。集団生活の中で、コミュニケーション力、思いやりの心や道徳性の芽生えを培う、また、友達と協同する体験が年齢に応じて積み重ねられるように、指導内容の精選、指導方法の工夫・改善を積極的に行う。
- 〔3〕 青南幼稚園の豊かな環境を生かした、特色ある教育活動を展開する。
- 〔4〕 安心・安全な園生活を基本として、危機管理体制の強化を図り、関係諸機関と連携して幼児の安全確保と事故防止を図る。
- 〔5〕 教師一人一人が自分の持ち味やよさを生かしながら、自らの資質向上を目指して研修し、やりがいと誇りをもち青南幼稚園の教育に協働して取り組む。
- 〔6〕 保護者との信頼関係を築き、保護者と幼稚園がともに手を携えて教育を進めていけるように、全教職員が意識をもって、様々な機会を通して幼稚園教育内容を公開したり発信したりして、教育の理解を十分に図る。
- 〔7〕 地域に開かれた幼稚園として、地域の人々との交流や未就園児保育の実施、園教育の発信を積極的に行い、地域の幼稚園としてさらに信頼が得られるようにする。
- 〔8〕 学校関係者評価・保護者アンケート・教員自己評価等での意見・評価を生かした改善を図り、よりよい青南幼稚園の教育を推進する。

#### VI 今年度の具体的方策

- < 1 > 幼児がいろいろな友達や人々と関わり合い、多様な体験がつながり、心身共に豊かに育つために
  - ① 担任が学級の幼児一人一人と信頼関係を築くことを教育の基盤とし、幼児が集団や新しい関わりへの安心感をもって過ごせるように、常に関係を見直す。
  - ② 自然環境等を生かし直接体験を通して幼児が豊かに感じ、気づき、知ることの楽しさが感じられ、遊び込む体験が積み重なるようにする。
  - ③ 異学年の幼児との関わりの中で、共に育ち合い心豊かに成長・発達できるようにチーム保育を推進する。
  - ④ 発達の連続性を捉え、家庭教育と幼稚園教育、小学校教育が一連のつながりのある教育になるように、時期に適した教育内容や方法を工夫する。
  - ⑤ 保育園・小学校・中学校との互惠性のある交流や地域の方との関わりの中で、幼児の意欲や関心を高め、幼児の遊びや生活を豊かにしていく。
  - ⑥ 日本や外国の文化に触れ親しむ教育活動を実施する。

＜2＞教師一人一人が力を発揮し、互いに学び合い、つながりのある「青南幼稚園の教育」を推進するために

- ① 日常の遊びや生活の充実が園行事に密接につながるように、日々の保育を丁寧に積み重ねていく。また、教育内容の公開や積極的な発信を行う。
- ② 幼児が安心・安全な園生活を過ごすことができるように、環境整備に努める。また、危機管理意識を強くもち、様々な事態を想定した安全教育・避難訓練を計画、実施するとともに、幼児の状況察知能力や危険回避能力の育成を図る。
- ③ 学年会や日常的な保育の振り返りの話し合いを重ね、学級経営案・週日案等で確実に計画・実施・反省、評価を行い、常に教育内容の充実を図る。
- ④ 学級担任が責任をもって一人一人の幼児を指導・支援し、学級経営を行う。また、一人一人の幼児の様子について教師同士情報を共有し、共通理解をしながらチーム保育を行う。
- ⑤ 外部講師による年間4回の研究保育指導や毎月1回の園内研究会を行い、幼児理解を含めた教師の指導力の向上を図る。また、中堅教員による若手教員の実践指導や園外研修内容の共有化等で、教師同士互いに学び合う土壌をつくる。
- ⑥ 昨年度作成した異年齢とのつながりを重視した3年間の指導計画を現状に合わせて見直し、青南幼稚園の教育の着実な実施と共通理解を図る。また、青山アカデミーの合同研究や幼保連携に向けての実践を進める。

＜3＞保護者が子育てを楽しみ、子育て仲間としてつながりながら育ち合うために

- ① 保護者会や学級懇談会、保育参観等の機会を効果的に活用し、幼児理解や幼稚園教育への理解を深められるようにするとともに、親子で楽しめる遊びの紹介や機会を設けて、家庭教育の充実につなげていく。
- ② 保護者が様々な形で力を発揮したり、保護者同士協働したりする活動等を通して、自分たちの力を発揮し生かす楽しさが感じられるようにするとともに、みんなで助け合って子育てをしようという気持ちを育てていけるようにする。
- ③ 夏季プール指導、ロングサマーデー、就学時保護者会時の預かり保育等を実施し、保護者の子育てを支援する。

＜4＞地域の人々とのつながりを大切にし、地域の人々の力を教育に生かすために

- ① 地域の行事に積極的に参加し、地域の人々とのつながりを深める。
- ② おはなし会や昔遊びの会、自然観察会や英語に触れる機会など、地域の方々の力を教育に生かし、多様性に出会い、幼児の心情が豊かになるようにする。

## Ⅶ 中期的な方策

○幼小中一貫教育の基となる教育として、先への見通しをもって合同研究を推進する

## Ⅷ 教師の資質の向上

### (1) 教育公務員としての服務

- ・ 教育公務員としての自覚と責任をもち、服務の厳正を図り、組織の一員として職務を遂行し、保護者や地域の方々の信頼をさらに高めていく。

### (2) 教師の資質の向上に向けた研究・研修

- ・ 経験年数に応じた指導力や資質の向上を図るため、自己申告制度を活用し、OJT・OFF-JT両面での研究研修の推進を図る。
- ・ 今年度から区の研究奨励園として、学級経営を視点とした「集団の中で一人一人がかがやくために～つながりを活かした指導の工夫～」を主題とする研究を始めた。園内研究に協働して取り組む中で、指導力向上を図り、日々の保育から資質向上を目指す研究的態度を培う。
- ・ 幼小中一貫教育の実施にあたり、青山アカデミーの合同研究を推進する。

・ 平成27年度 青南幼稚園経営計画概要

教育の港区基本姿勢

- ・ 区民に信頼される学校づくり
- ・ 区民と共にある学校づくり
- ・ 子どもたちが誇れる学校づくり

幼児教育推進理念

幼児の生活に 学びを保障する

教育目標

- よく考えて遊ぶ
- 友達をたくさんつくる
- じょうぶな体をつくる 青南の子

- ・ 幼稚園教育要領
- ・ 幼児の実態から
- ・ 家庭の願いから
- ・ 地域の要請から
- ・ 教育課題から

豊かにつながる幼稚園

幼児がいろいろな友達や人々とかかわり合い、多様な体験がつながりながら心身ともに豊かに育つ幼稚園

- \* 教師との信頼関係を基盤に人との関わりに安心感をもつ幼児の育成
- \* 自然環境等を生かし直接体験を通して豊かに感じ学び合う幼児の育成
- \* 同学年や異学年の幼児とのかかわりの中で共に育ち合う幼児の育成
- \* 発達の連続性を捉えたつながりのある教育の実施
- \* 地域の人々との豊かなかかわりや互惠性のある交流活動の実施
- \* 日本や外国の文化に触れ親しむ教育活動の実施

教師一人一人が力を発揮し、互いに学び合い、つながりのある『青南幼稚園の教育』を協働して推進する幼稚園

- \* 日常の遊びや生活の充実と園行事へのつながりのある保育の構築
- \* 安心・安全な園生活のための危機管理意識の強化（環境整備・様々な事態を想定した避難訓練等の実施・幼児の危険回避能力の育成）
- \* 週日案等での確実な計画・実施・反省・評価
- \* 園内研究・園外研修の推進
- \* 各年齢の実態に応じた教育計画等の見直しと着実な実施
- \* ティーム保育の推進

保護者が子育てを楽しみ、保護者同士が子育て仲間としてつながりながら、親として育ち合う幼稚園

- \* 保護者が子育てを楽しみ、保護者同士が、親として育ち合う幼稚\*保護者会
- \* 保護者が力を発揮し協働する活動の支援

地域の人とのつながりを大切にし、地域の人の力を幼児期の教育に生かす幼稚園

- \* 地域行事への積極的な参加
- \* 地域の人を力を生かした豊かな遊びや生活づくり

幼稚園経営の基本方針

- 〔1〕 幼児一人一人をきめ細かく継続的に理解することに努め、幼児・教師・保護者三者の信頼関係を基に、温かく愛情ある保育を丁寧に積み重ねる。
- 〔2〕 幼児が基本的な生活習慣を身に付け、自己を発揮しながら進んで物事に取り組もうとする意欲・関心・態度を育む。集団生活の中で、コミュニケーション力、思いやりの心や道徳性の芽生えを培う。また、友達と協同する体験が年齢に応じて積み重ねられるように、指導方法の工夫・改善を積極的に行う。
- 〔3〕 青南幼稚園の豊かな環境を生かした特色ある教育活動を展開する。
- 〔4〕 安心・安全な園生活を基本として、危機管理体制の強化を図り、幼児の安全確保と事故防止を図る。
- 〔5〕 教師一人一人が自分の持ち味やよさを生かしながら、資質向上をめざして研修し、やりがいと誇りをもち青南幼稚園の教育に協働して取り組む。
- 〔6〕 保護者との信頼関係を築き、保護者と幼稚園が共に手を携えて教育を進めていけるように、様々な機会を通して幼稚園教育内容を公開したり発信したりして、教育の理解を十分に図る。
- 〔7〕 地域に開かれた幼稚園として、地域の人との交流や未就園児保育の実施、園教育の発信を積極的に行い、地域の幼稚園としてさらに信頼が得られるようにする。
- 〔8〕 学校関係者評価・保護者アンケート・教員自己評価等での意見・評価を生かした改善を図り、よりよい青南幼稚園の教育を推進する。